



新城 哲 議員

## 子どもの貧困対策、村の取り組み状況について。

**質** 沖縄の子供を取り巻く厳しい状況を踏まえ、緊急的に措置を講じることとし、平成28年度から沖縄こどもの貧困緊急対策事業を実施しています。令和6年度、村の取り組み状況。子どもの貧困対策支援員の配置について伺う。

**答** 学校教育課長（仲村泰弘）

子どもの貧困対策支援員を小学校へ2人、スクールソーシャルワーカーとして安富祖小学校・恩納小学校を兼務するスクールソーシャルワーカー1人、仲泊小学校・山田小学校を兼務するスクールソーシャルワーカー1人の合わせて2人を配置しています。

**質** 子どもの居場所運営支援について伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

令和8年度に認定こども園へ移行する恩納保育所施設が空き施設となるため、同施設を活用して、子どもの居場所と村内事業を行っている放課後児童デイサービス事業所と協議を行っているところです。子どもの居場所が子供にもたらす効果として、心の安心、自分を受け入れてもらえる環境で、心の負担が軽減されること、社会性の向上、他者との交流を通じてコミュニケーション能力が育まれる。学びと成長の機会を設けて新しいことに挑戦し、自信をつける場となるということを考えています。

**質** 若年妊産婦の居場所の状況について伺う。

**答** 健康保険課長（當山香織）

本村の若年妊産婦の現状ですが、令和5年度の件数は2件、令和6年度は現在1件となっており、例年1、2件あります。妊娠届出の際に、本村の保健師が家庭環境や養育していく上での家族の支援状況等を確認して、妊娠中から出産後まで様々な事業を通して継続的に関わり必要な支援へつなげています。沖縄県の令和5年度、若年妊産婦支援促進事業において、沖縄県内の若年妊産婦の居場所等一覧を情報提供いただいて、提供された資料のうち、本村の住民の方が利用できる施設は2か所となっています。

**質** ひとり親家庭の自立支援の取り組み状況。母子及び父子家庭等医療費助成について伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

母子及び父子家庭等に対し医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るための制度です。村においては、令和5年度は164名、今年度においては165名になっています。

**質** 保育所等の優先入所の状況について伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

保育所入所は、保育の実施評点票で母子・父子世帯または準ずる家庭に優先利用事由で加点され、入所選考を行っています。

**質** 物価高騰などの影響で生活が苦しくなった家庭や貧困問題などについて、村長の考えを伺う。

**答** 村長（長浜善巳）

物価高騰は全ての世帯に影響を与えています。特に子育て世帯や低所得世帯においては、食費や電気・ガス、日用品と生活に直結する費用負担が大きいとの声があり、ひとり親世帯などの実態調査においては、子育ての不安や悩みで進学にかかる費用が子育ての不安や悩みの多数を占めているという報告がなされています。引き続き、村においても子供



▲立ち枯れたリュウキュウマツ

の利益を最優先に考えた取り組みや施策の充実を図り、こどもまんなか社会の実現を目指していきたいと考えています。

**質** 松くい虫被害の枯れたリュウキュウマツについて。危険木として早めの対応はできないか伺う。

**答** 農林水産課長（平安名盛常）

危険箇所を優先的に対応していき、国道バイパスや県道敷地内の被害木については、所管の道路管理者の管轄となるため、北部国道事務所や沖縄県に対して対策を講じるよう要請しています。



大城 保 議員

## 野良猫対策について

**質** 村に対し苦情、トラブル等の報告や相談事があったのか伺う。

**答** 村民課長（山城達也）

「ゴミあさり、ふん被害、野良猫への餌やり等、年に数回程度、苦情、相談等が寄せられています。」

**質** 村は野良猫対策としてどのような取り組みをしているのか伺う。

**答** 村民課長（山城達也）

地域ボランティアに協力していただき、猫を増やさないように不妊手術をし、元いた場所に戻す活動を実施しています。

**質** 飼い猫と野良猫の区別をするリボンなり首輪の義務付け、周知をやっていたか。

**答** 村民課長（山城達也）

区別ができるよう協力願ひ、周知は行いたいと思います。

## 防災行政無線について

**質** 難聴地域がある。苦情等、聞こえにくい地域を把握しているのか伺う。

**答** 総務課長（宮平寛）

気候条件、雨、風等で聞こえづらいという声は村内でも多々あり、保守業者によるスピーカーの音量、向き調整をしているところです。

**質** 音が大きくなってうるさい。一方で、話が聞きづらくて情報が入らないと。双方意見がある。難聴地域を解消するには低音量でのスピーカー増設が効果的だと考えるが。

**答** 総務課長（宮平寛）

新たな増設は考えておりません。耐用年数も来ていることから、更新に向けて業務を行っています。

**質** 防災行政無線の戸別受信機の設置を推奨している自治体がある。村内においても安富祖区が設置している。難聴地域の高齢者世帯や、身体に障がいがある方、希望があれば設置可能なのか。

**答** 総務課長（宮平寛）

更新のタイミングで戸別受信機なのか、それ以外なのか検討する必要がある。

**質** 防災行政無線、設置から約13年、更新に向けての現在の取り組みの現状等を伺う。

**答** 総務課長（宮平寛）

現在、村全域で更新に係る基礎調査、音響の伝達調査を実施しています。計画を令和7年度、令和8年度に実施設計、令和9年度に更新工事を進めていく。

## 卒業祝い特別給食について

**質** 村には多くのリゾートホテルがあります。近くにありながら深く関わるのがなかなかない子供たちにもリゾートホテルの雰囲気にも包まれ美味しい料理を食べながらテーブルマナーを学ぶ機会を作っていたか。

**答** 学校教育課長（仲村泰弘）

将来社会に出ていくに当たって必要な技能の習得と考えられるので、給食も含め家庭科、道徳などほかの教科の中でもどのように取り組むことができるか、検討していきたい。

**答** 教育長（宜志富清博）

中学3年生を対象にテーブルマナーを中心にしてできないか企業と進めて検討してみたい。

## 長雨による農作物被害について

**答** 村長（長浜善巳）  
今後GM会も含めて教育委員会が調整できればと思っています。

**質** 喜瀬武原区の菊栽培、安富祖区の水稲、長雨による農作物被害が出ている。状況を把握しているのか伺う。

**答** 農林水産課長（平安名盛常）

作業の遅れを余儀なくされた事例や、発芽不良や根腐れの被害により収量減。品質低下が懸念されています。

**質** 村内にかなりの被害が出ている。何らかの支援が必要だと思うが。

**答** 農林水産課長（平安名盛常）

自然災害だけでなく農作物の価格低下や病気やけがで収穫できない場合など、農業者の経営努力だけでは避けられない全ての農作物を対象とした収入減少を広く補償する収入保険制度への加入促進に努めていきたいと考えています。